



「等々力陸上競技場」の愛称が 「Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu」に決まりました！

このたび、「等々力陸上競技場（川崎市中原区）」では、ネーミングライツ事業を導入し、富士通株式会社（川崎市中原区）がネーミングライツパートナーとなり、愛称を「Uvance（ユーバンス）とどろきスタジアム by Fujitsu」とすることを決定しました。

【導入概要】

- 1 愛称 Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu
- 2 金額 ネーミングライツ料：年額 2,000万円
- 3 契約期間 令和6年2月1日から令和11年3月31日まで（約5年間）
※ただし、等々力緑地再編整備事業により契約期間内に本施設の解体等を開始する場合は、工事開始日の前日までとする。
- 4 ネーミングライツパートナー 富士通株式会社

【背景】

等々力緑地では、本市と川崎とどろきパーク株式会社（以下「KTP」という。）が「等々力緑地再編整備・運営等事業（以下「本事業」という。）」の事業契約を令和5年3月に締結し事業に着手しました。

この事業では、ネーミングライツを業務の一つと位置づけており、本市が認めた場合には対象の施設にネーミング（愛称）を付けることができる契約としております。

令和6年1月にKTPから陸上競技場について、富士通株式会社をスポンサーとしたネーミングライツの導入提案があり、本市が提案を審査した結果、本年2月1日から「Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu」を愛称とすることとしたものです。

なお、本事業では、KTPがネーミングライツ料の50%を本市に納付する契約となっております。

※ネーミングライツとは

「公共施設等に名称を付与する権利（命名権）及びこれに付帯する諸権利のこと」をいいます。この場合の名称とは、一般的な呼称として用いられる愛称をいい、市の条例等で定められている正式な施設名等を変更するものではありません。

【決定経緯】

- 令和5年 8月 本市が等々力緑地ネーミングライツ審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置
審査委員会でK T Pがネーミングライツを募集する方法等を審査し決定
K T Pが募集を開始
K T Pが企業等への働きかけ（10社程度）を実施
- 令和6年 1月 K T Pが本市に陸上競技場のネーミングライツ導入案を提案
審査委員会でK T Pの提案を審査し本市が承諾
K T Pと富士通株式会社が契約を締結（1月17日）
- 令和6年 2月 愛称使用開始

【富士通株式会社の概要】

- 所在地 川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
代表者名 代表取締役 時田 隆仁
設立 昭和10年6月20日
事業概要 通信システム、情報処理システム及び電子デバイスの製造・販売ならびにこれらに関するサービスの提供など

ユーバンス Uvance とは …

Fujitsu Uvance は、お客様のビジネス成長と社会課題の解決に挑むソリューションです。「あらゆる（Universal）ものをサステナブルな方向に前進（Advance）させる」という2つの言葉を重ね合わせた造語で、多様な価値を信頼でつなぎ、変化に適応するしなやかさをもたらすことで、誰もが夢を追うことのできる持続可能な世界へと変えていくという富士通の決意が込められています。

（問合せ先）

川崎市建設緑政局富士見・等々力再編整備室 山本
電話 044-200-2417

等々力陸上競技場 施設概要

施設名称	等々力陸上競技場
施設所在地	川崎市中原区等々力1-1
施設概要	競技場概要 第1種公認陸上競技場 競技場全体面積 43,957 m ² トラック 1周 400 m 8レーン フィールド 芝生 107m×71m スタンド 収容人数 約 27,000 人 主な施設 照明施設、大型映像装置、ロッカー室、更衣室、会議室、記者室 等
	管理運営 令和5年4月から指定管理者による管理 (指定管理期間：令和5年4月1日から令和35年3月31日まで)
	主な利用状況 サッカー (Jリーグ、天皇杯、各種市民大会 等) 各種陸上大会、駅伝・マラソン大会 等 ラグビーリーグワン 等

等々力陸上競技場 外観



等々力陸上競技場 場内

